

平成 23 年度 シラバス	学年・期間・区分	2年次・前期・必修	
	対象学科・専攻	機械・電子システム, 電気情報システム, 土木工学専攻	
環境人間工学 (Environmental Human Engineering)	担当教員	山田 真義 (Yamada, Masayoshi)	
	教員室	都市環境デザイン工学科棟3階 (Tel. 42-9123)	
	E-Mail	m-yamada@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位数	講義 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100分) + 自学自習 (200分)] × 15回		
[本科目の目標] 人間の諸活動を地域的に空間的に独立させて行なうことができなくなった地球環境の時代においては、高精度の物理化学現象を複雑な生物学的現象に重ねなければならない。このため、本科目では、環境人間工学の基本的考え方についての概略を学ぶ。			
[本科目の位置付け] 本科で学習する環境工学および専攻科1年次の環境科学を踏まえ、本科目では人間環境学の基礎、環境汚染の発生と対策、近年の環境問題と人間生活を中心に学習する。			
[学習上の留意点] 講義内容を理解するために毎回教科書などを参考に2時間程度の予習を行い、授業に挑むこと。また、授業終了後には2時間程度の復習を行い、講義内容を習得すること。疑問点があれば、その都度質問すること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 人間環境学の基礎	10	環境の定義を理解できる	左の項目について図書館の文献やインターネット等を使って調べて、概略を理解しておく。
		公害対策基本法から環境基本法への展開を理解できる	予め配付する資料を読み、概要を把握しておく。また、pp. 30-41 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。
		衣・食・住環境を理解できる	pp. 3-24 の内容について、教科書を読んで概要を把握しておく。また、予め配付する資料を読み、概要を把握しておく。
2. 環境汚染の発生と対策	8	人口と環境を理解することができる	左の項目について図書館の文献やインターネット等を使って調べて、概略を理解しておく。
		大気汚染と酸性雨を理解できる	健康と環境の工学(参考書)の pp. 19-23、pp. 55-58、pp. 142-147、pp. 158-162の内容について、参考書を読んで概要を把握しておく。
		水・土壌環境の保全を理解できる	健康と環境の工学(参考書)の pp. 67-70、pp. 76-98、pp. 136-141の内容について、参考書を読んで概要を把握しておく。
		騒音・振動・悪臭を理解できる	左の項目について図書館の文献やインターネット等を使って調べて、概略を理解しておく。

